



株式会社クレオ

2021年3月期 第2四半期
決算説明会

2020年11月5日

株式会社クレオ (JASDAQ:9698)

目次

Index

1. 2021年3月期 決算概要
 2. 顧客環境の変化と課題認識
- <補足資料>

2021年3月期 第2四半期トピックス

上期業績

- ・前年度に引き続き、企業活動の変革へ向けたIT投資拡大による既存基幹システムのリプレイス増など大型統合ソリューションが堅調に推移
- ・システム運用・サービス事業で自宅待機要請が発生

コロナ影響

新型コロナウイルスの影響はテレワーク環境強化によるコスト増はあるものの、システム運用・サービス事業で自宅待機要請が発生以外は各事業影響は軽微

通期業績 ガイダンス

下期も成長事業であるソリューションサービス事業を中心とした収益構造の変化をさせながら増収増益目指す

(2021年3月期通期計画：売上高 155億円、営業利益 11億円)

決算概要

Financial Results

2021年3月期 2Q 連結業績概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 2Q 実績	2021年3月期 2Q 計画値	2021年3月期 2Q 実績	前期比		対計画比	
				増減	%	増減	%
売上高	6,832	6,900	6,748	△83	△1.2	△151	△2.2
営業利益	440	300	413	△27	△6.2	113	37.7
経常利益	474	320	459	△14	△3.1	139	43.5
純利益	306	170	264	△42	△13.8	94	55.4

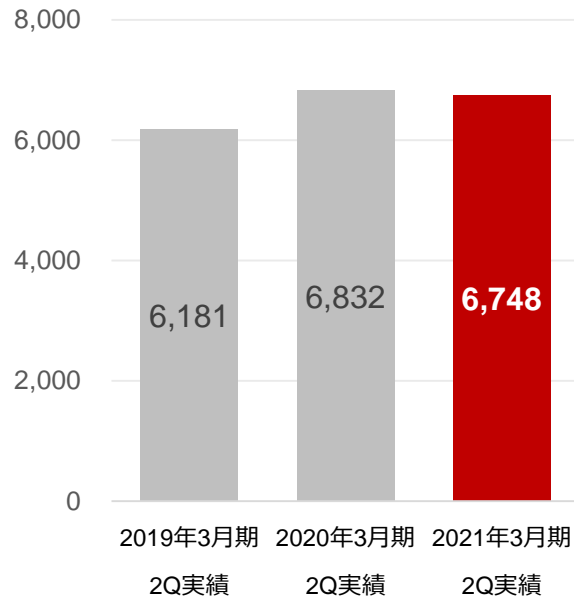
■ 連結業績概要について（対計画比）

- 売上高：1Qのシステム運用・サービス事業の待機発生などにより、計画比で1億51百万円減少（別途、営業補償金として受領）
- 営業利益：ソリューションサービス事業をはじめとする全事業が堅調に推移し、計画比で1億13百万円増加
- 経常利益：営業利益の増加により、計画比で1億39百万円増加
- 純利益：営業利益の増加により、計画比で94百万円増加

3力年度の業績推移（第2四半期累計）

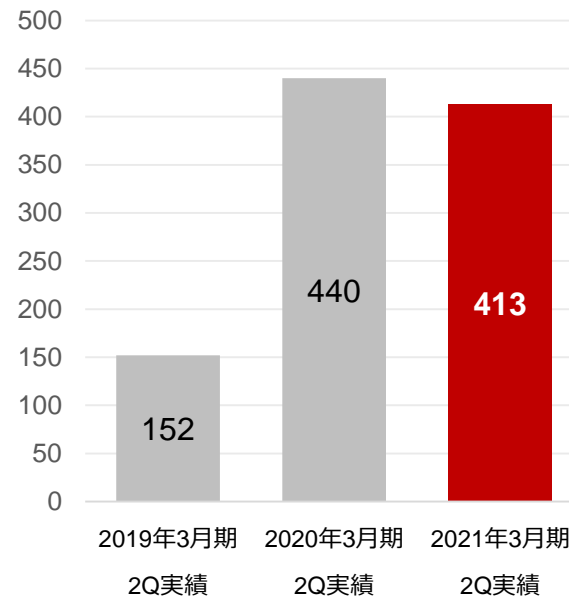
単位：百万円

売上高



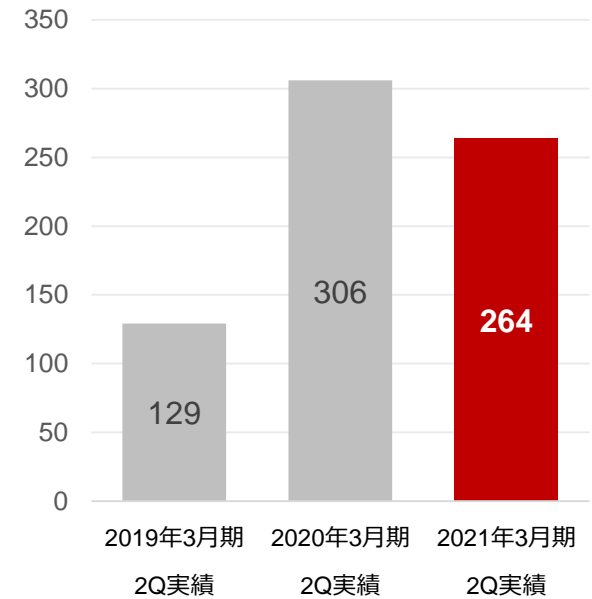
2021年3月期はシステム運用・サービス事業で1Qに発生した待機の影響で前期比減。

営業利益



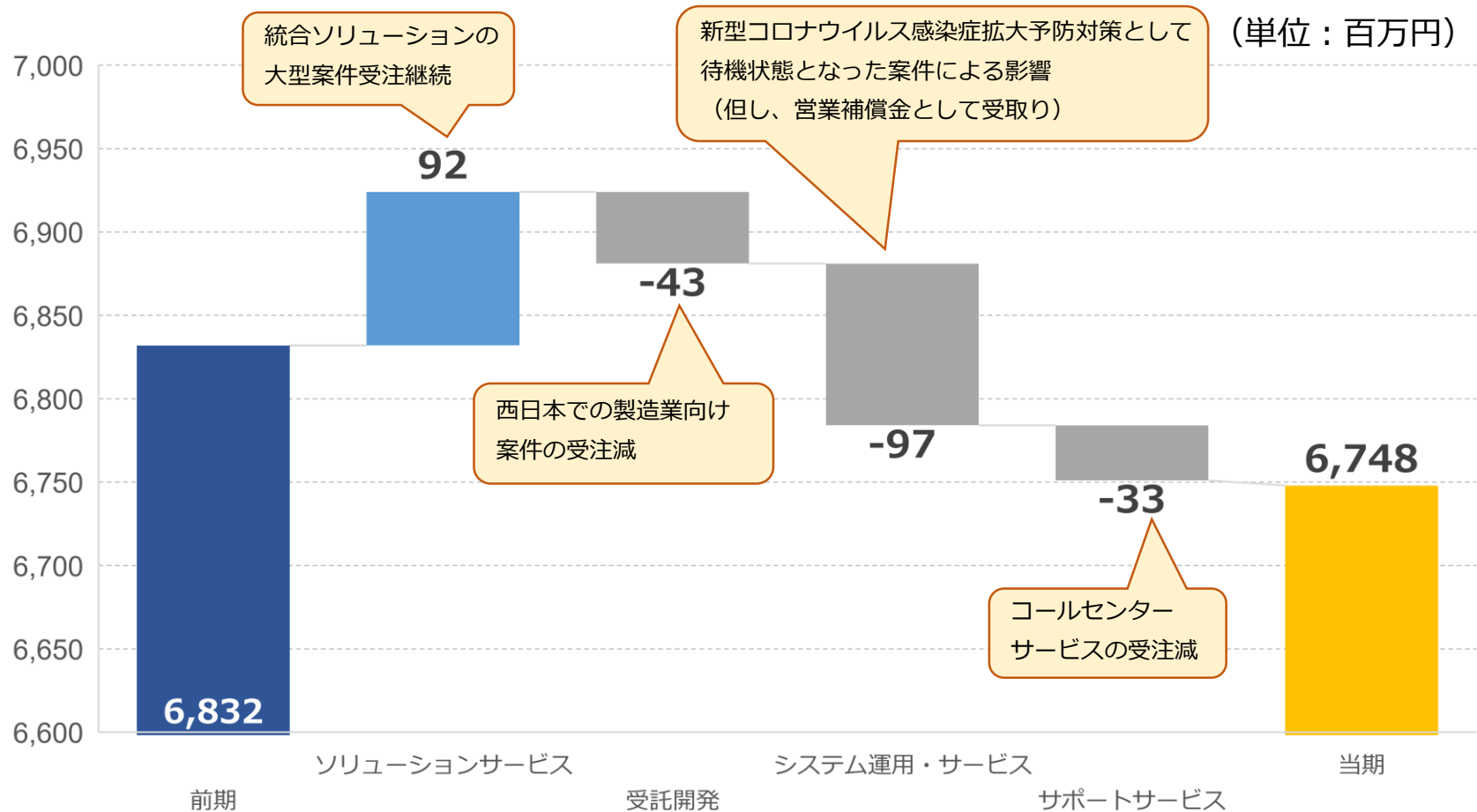
2021年3月期の上期は新型コロナウイルス対策およびオフィス増床などのコスト増により前期比減。

純利益



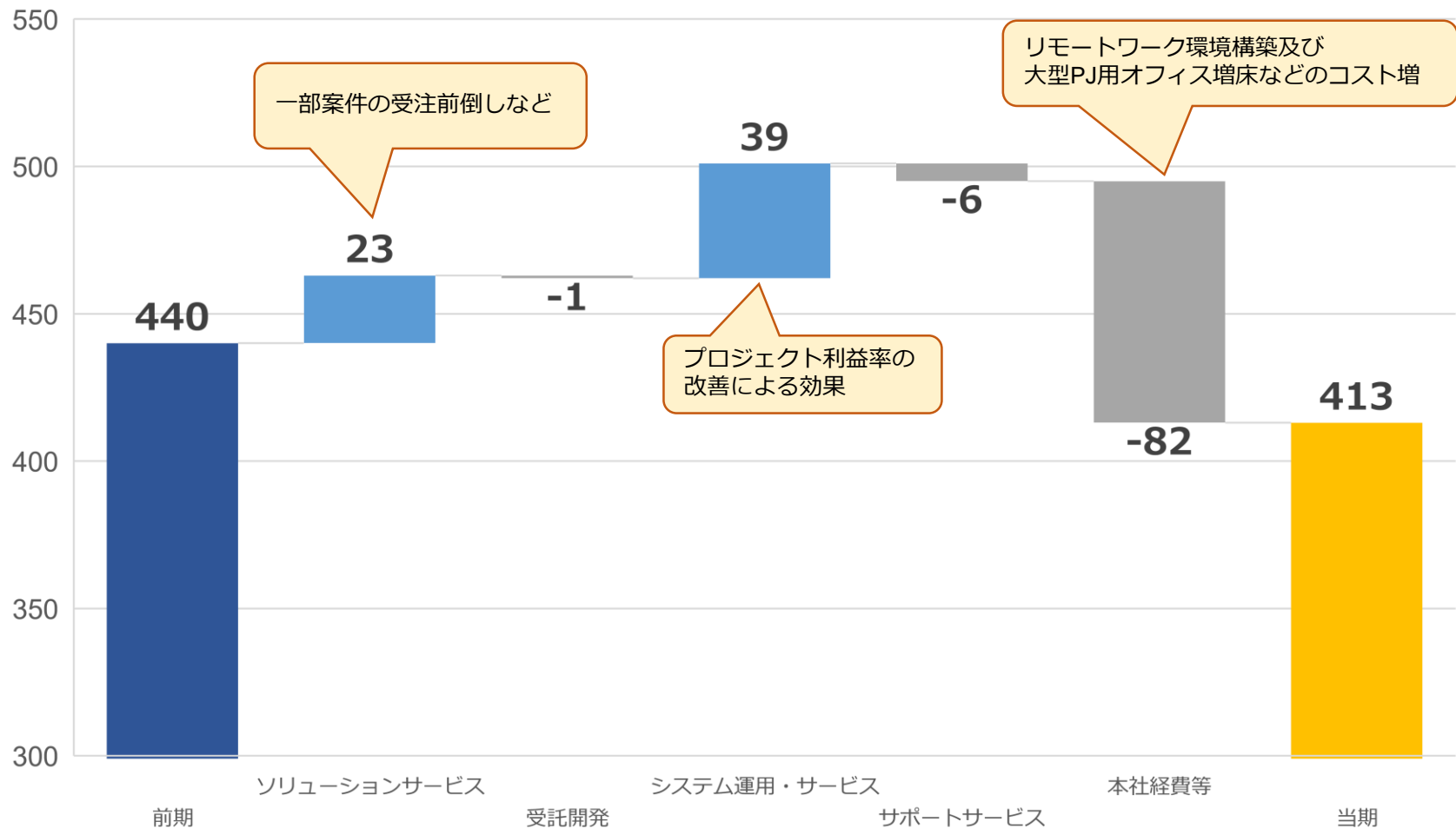
2021年3月期は、営業利益減による。

連結売上高 2Q 前期比 増減内訳



連結営業利益 2Q 前期比 増減内訳

(単位：百万円)



2021年3月期 2Q セグメント別売上高の概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q計画値	2021年3月期 2Q実績	前期比		対計画比		売上 構成比
				増減	%	増減	%	%
ソリューションサービス事業	2,249	2,330	2,341	92	4.1	11	0.5	34.7
受託開発事業	1,202	1,220	1,158	△43	△3.7	△61	△5.0	17.2
システム運用・サービス事業	1,065	1,030	967	△97	△9.2	△62	△6.0	14.3
サポートサービス事業	2,314	2,320	2,280	△33	△1.5	△39	△1.7	33.8
連結合計	6,832	6,900	6,748	△83	△1.2	△151	△2.2	100

■ ソリューションサービス事業

引き続き大型案件の受注継続

■ システム運用・サービス事業

1Qの待機発生などの影響（別途、営業補償金を受領）

2021年3月期 2Q セグメント別営業利益の概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q計画値	2021年3月期 2Q実績	営業利益率 (%) ※	前期比		対計画比	
					増減	%	増減	%
ソリューションサービス事業	436	450	459	19.6	23	5.4	9	2.0
受託開発事業	173	160	171	14.8	△1	△0.7	11	7.5
システム運用・サービス事業	44	45	84	8.7	39	87.5	39	86.7
サポートサービス事業	175	135	169	7.4	△6	△3.6	34	25.6
本社経費等	△389	△490	△471	-	△82	21.1	18	△3.7
連結合計	440	300	413	6.1	△27	△6.2	113	37.7

※ 連結子会社が運営する「システム運用・サービス事業」「サポートサービス事業」以外の2事業については、営業利益の算出にあたり、本社経費等の配賦を行っておりません。

■ 製品販売系事業は引き続き好調

ソリューションサービス事業の営業利益率は前期 18.5% から 1.1 ポイント上昇
本社経費増はリモート環境構築と大型PJ向けオフィス増床分が影響

2021年3月期 対通期計画値 2Q進捗率

(単位：百万円、%)

売上高

	2021年3月期 通期 計画値	2021年3月期 2Q 実績値	2021年3月期 2Q 進捗率(%)	
ソリューションサービス事業	5,930	2,341	39.5	
受託開発事業	2,620	1,158	44.2	
システム運用・サービス事業	2,190	967	44.2	
サポートサービス事業	4,760	2,280	47.9	
連結合計	15,500	6,748	43.5	

営業利益

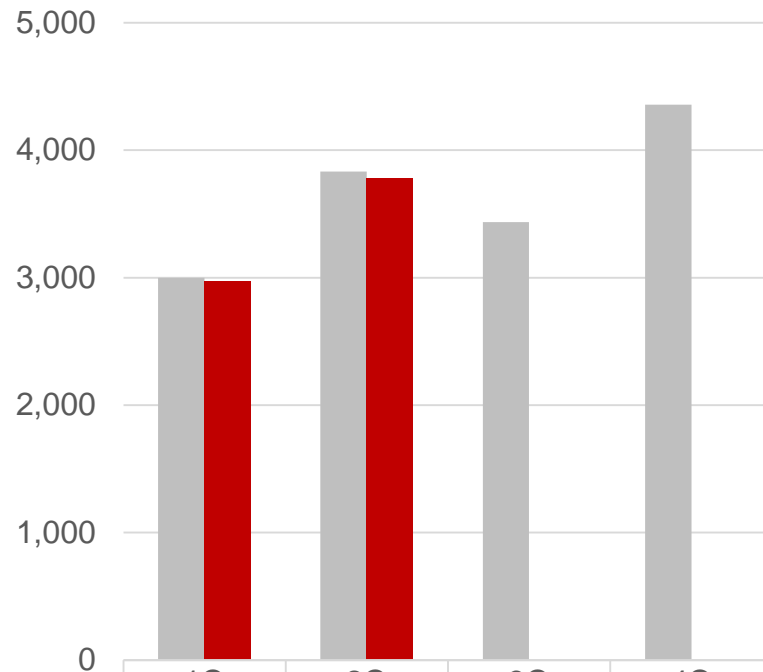
	2021年3月期 通期 計画値	2021年3月期 2Q 実績値	2021年3月期 2Q 進捗率(%)	
ソリューションサービス事業	1,230	459	37.3	
受託開発事業	340	171	50.6	
システム運用・サービス事業	200	84	42.0	
サポートサービス事業	320	169	53.0	
連結合計	1,100	413	37.6	

- ・ 通期での業績平準化を目指し経営管理を進めておりますが2021年3月期は大型案件の検収都合等もあり、営業利益計画は下期偏重となっております

四半期別の売上高・営業利益

四半期別売上高

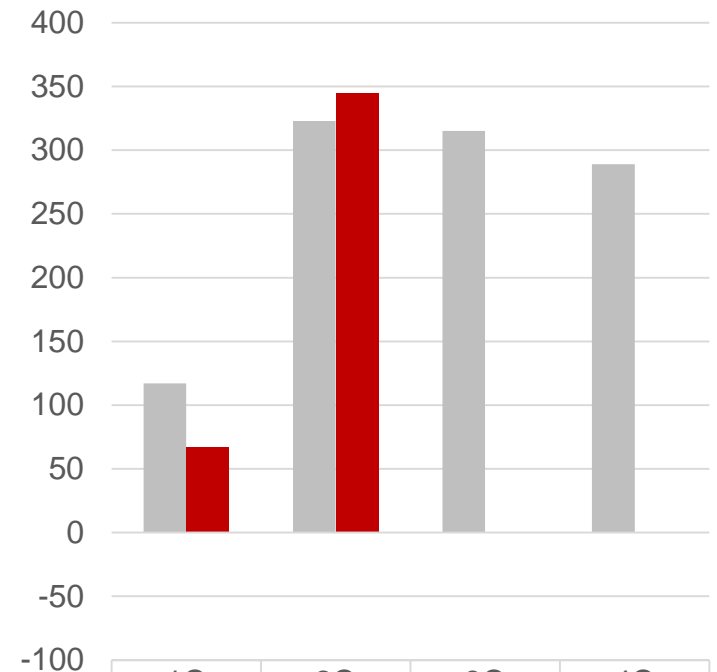
(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	2,998	3,833	3,436	4,356
■ 当期実績	2,972	3,776	-	-

四半期別営業利益

(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	117	323	315	289
■ 当期実績	67	345	-	-

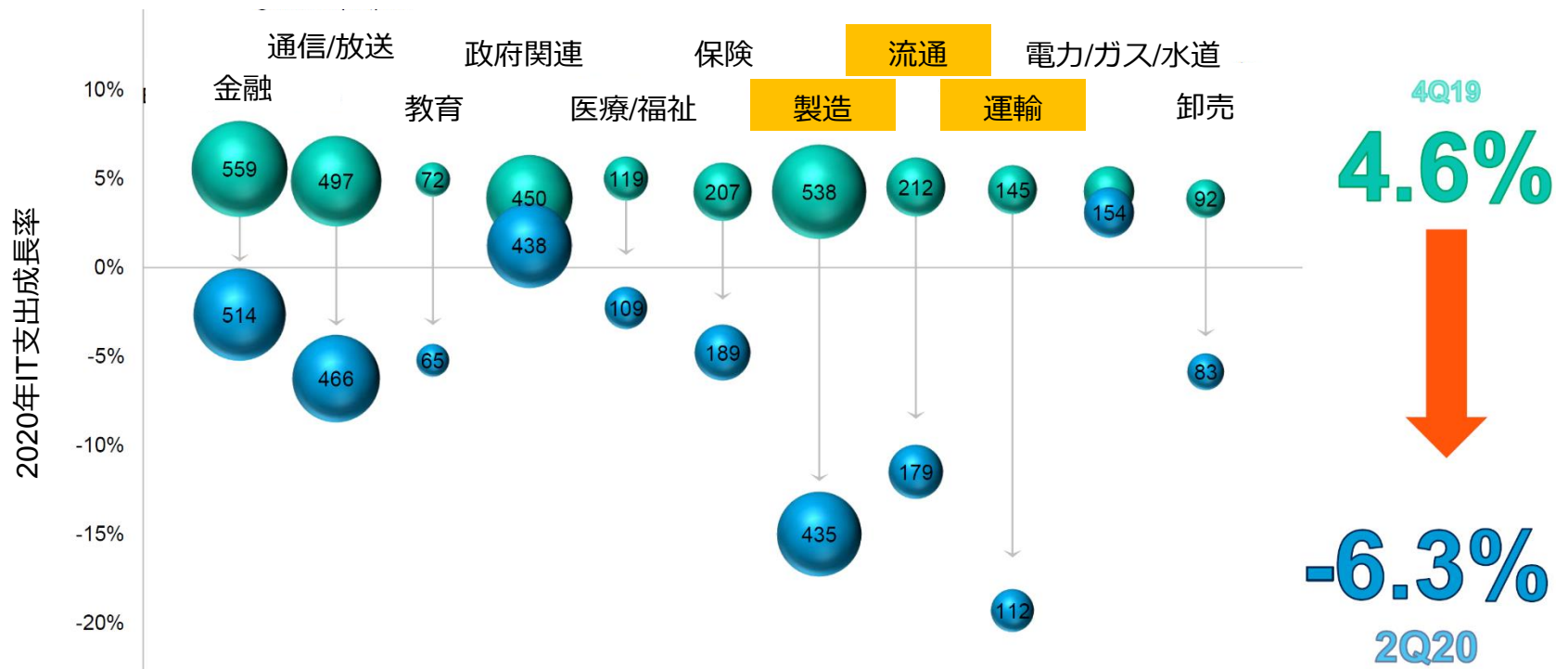
顧客環境の変化と課題認識

Business Strategies

顧客環境の変化：IT投資の動き（グローバル）

IT投資は製造・流通、運輸等で減速

業種別 IT支出成長率予測：Global



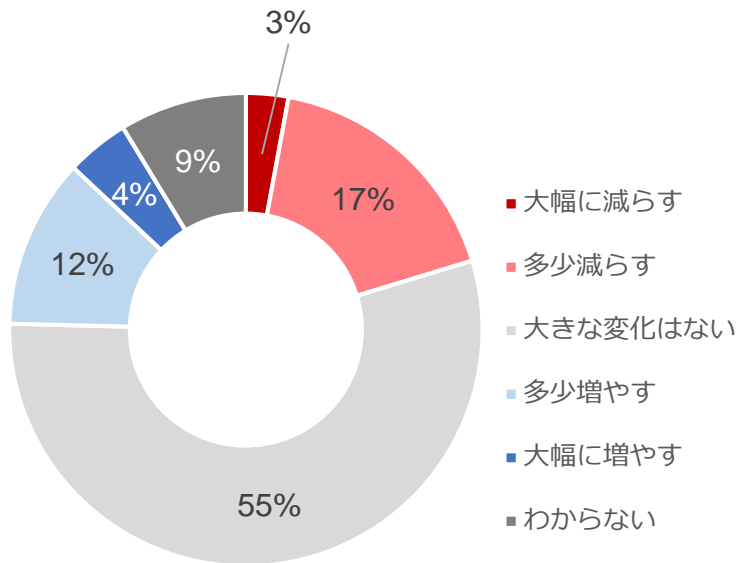
※バブルサイズ：業種別IT支出額 (B\$)

出所：Gartner Webinars：Q2 IT支出予測

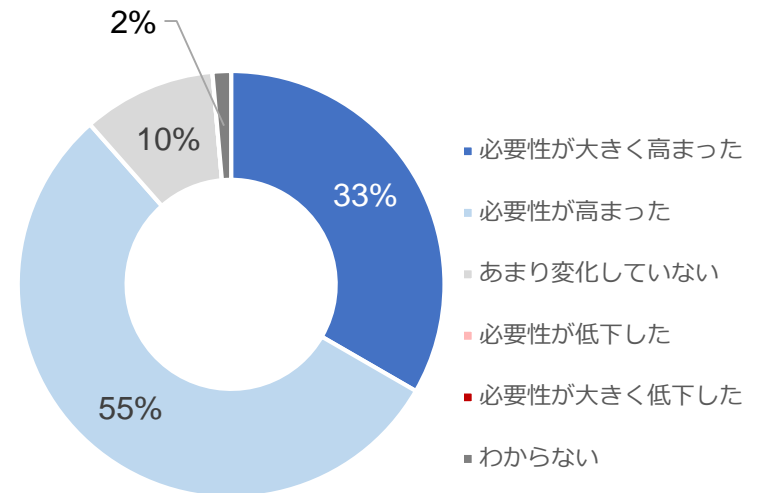
顧客環境の変化：ITへの期待値

コロナ禍でデジタル化・DXへの重要性が再認識されている

IT・デジタル投資の増加・減少の見通し



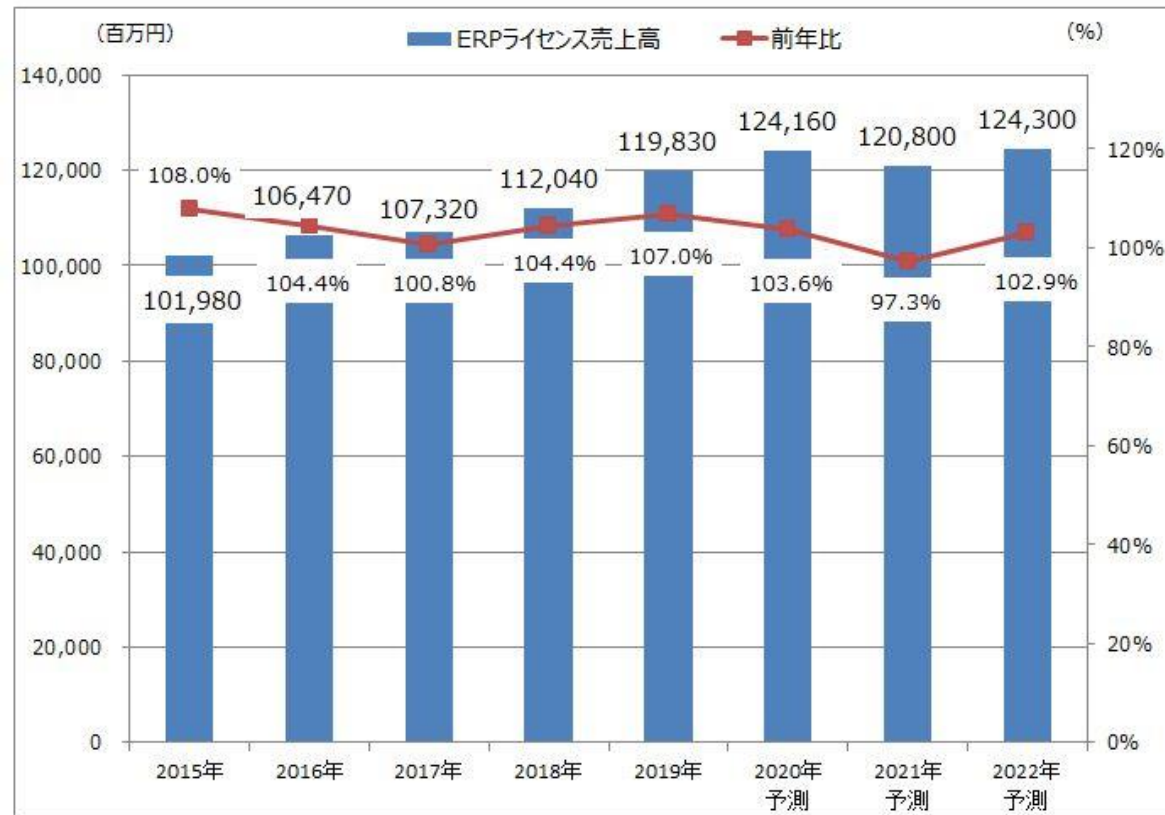
ITやデジタルを活用したビジネスモデルの見直しや新規事業検討の必要性



出所：NRI：新型コロナウイルス影響に関するCIO調査

顧客環境の変化：ERP（基幹システム）の市場動向

基幹システムの需要はこの状況下でも強く、底堅い



注1. エンドユーザ渡し価格ベース

注2. 2020年以降は予測値

矢野経済研究所調べ

出所：矢野経済研究所：国内のERPパッケージライセンス市場調査

新型コロナウイルス感染拡大の影響と対策

業績への影響認識

・ 現段階では想定より業績影響は少なかった認識

足元の需要は引き続き堅調ですが、ICTサービス市場においては、景気の影響が半年ほど遅れる傾向があり、今後も関連情報の収集と影響の分析を進め、環境の変化に機動的に対応してまいります。

主な感染リスクと影響予測

● 従業員、関係者の感染による事業活動の中断及び効率低下

● 外出自粛の長期化による製品、サービス供給能力の低下

- 顧客に対するサポート品質の低下
- 自社及び協業先の人員確保難

● 中長期的なIT市場変化の可能性

- 顧客の業績変化によるIT投資の抑制

当社の対策と対応（継続）

- 社員・役員のテレワーク環境の構築
- テレワークによる罹患リスク低減
会議/面談/研修のオンライン化

● 外出緩和によるテレワークとのハイブリッド対応による対応品質の維持、協業先も含めたテレワーク対応

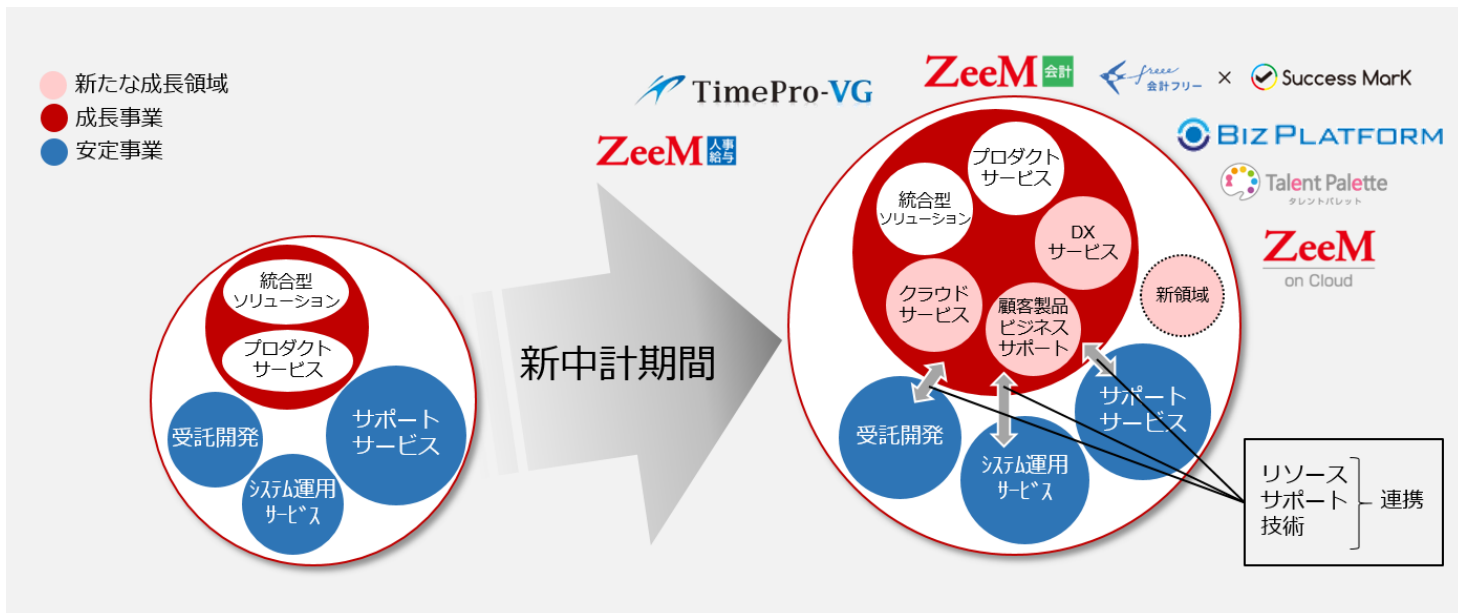
● コロナによって加速したニューノーマル時代に向けた顧客のDX推進に貢献

中期経営計画の進捗：グループ連携

ソリューションサービス事業を中心としたカンパニー・グループ連携が加速

- ソリューションサービス事業と受託開発事業のハイブリッドによるソリューション開発センターの立ち上げ
- 受託開発事業でのコロナ影響による受注減速に対するソリューションサービス事業からの案件共有
- サポートサービス事業の製品導入支援・連携

<連携イメージ>



課題および施策

対コロナを除く課題に大きな変化はなし

■ 短期施策 ■ 中長期施策

人財不足対策

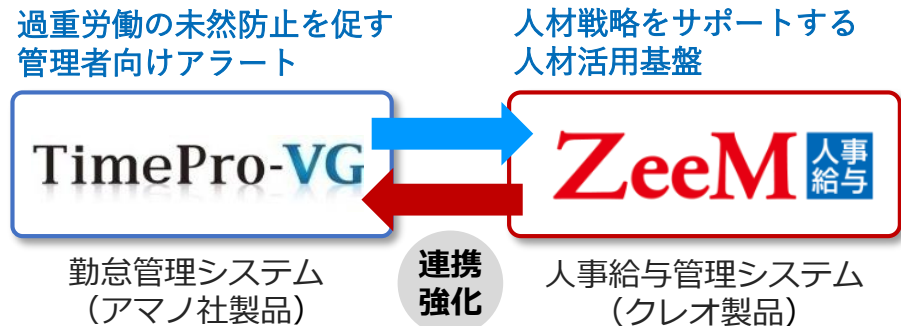
- **製品サービスの導入役務最適化**
標準的な役務のテンプレ化による省人力化
- **グループ会社連携による人財活用**
子会社メンバーからの業務支援による
導入役務パワーの拡大
- **サービス開発のベトナムオフショア利用**

大型プロジェクトマネジメント強化

- **プロジェクト点検の強化**
プロジェクト進捗の管理徹底による
赤字プロジェクトの発生抑制
- **プロジェクトリーダーの育成**
大型プロジェクトをマネジメントするリーダーの育成

アマノ社協業

- **勤怠管理→人事給与の営業連携強化**
- **SE・サポート連携の体制構築・強化**



今後の投資家の皆様との対話スケジュール

- 2020年 11月05日 第2四半期 決算説明会
- 2020年 11月28日 個人投資家向け説明会
- 2020年 12月～1月 スモールミーティング

WEBサイトのご紹介

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。

<http://www.creo.co.jp/ir/>



その他のお問い合わせ

株式会社クレオ

広報IR担当

press-ir@creo.co.jp

TEL03-5783-3560

補足資料

中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期）の基本方針

持続的成長・企業価値向上の仕組み作り

全ての
ステークホルダー
に対して

価値提供と還元 「魅力あるクレオ」

継続的な価値提供 「100年企業」

長期持続成長のための投資強化

- 1 事業構造、事業ポートフォリオの転換
- 2 持続的成長へ向けた人財育成・活用
- 3 変化、リスクに対応できる柔軟な組織、業務プロセスへの変革

既存事業

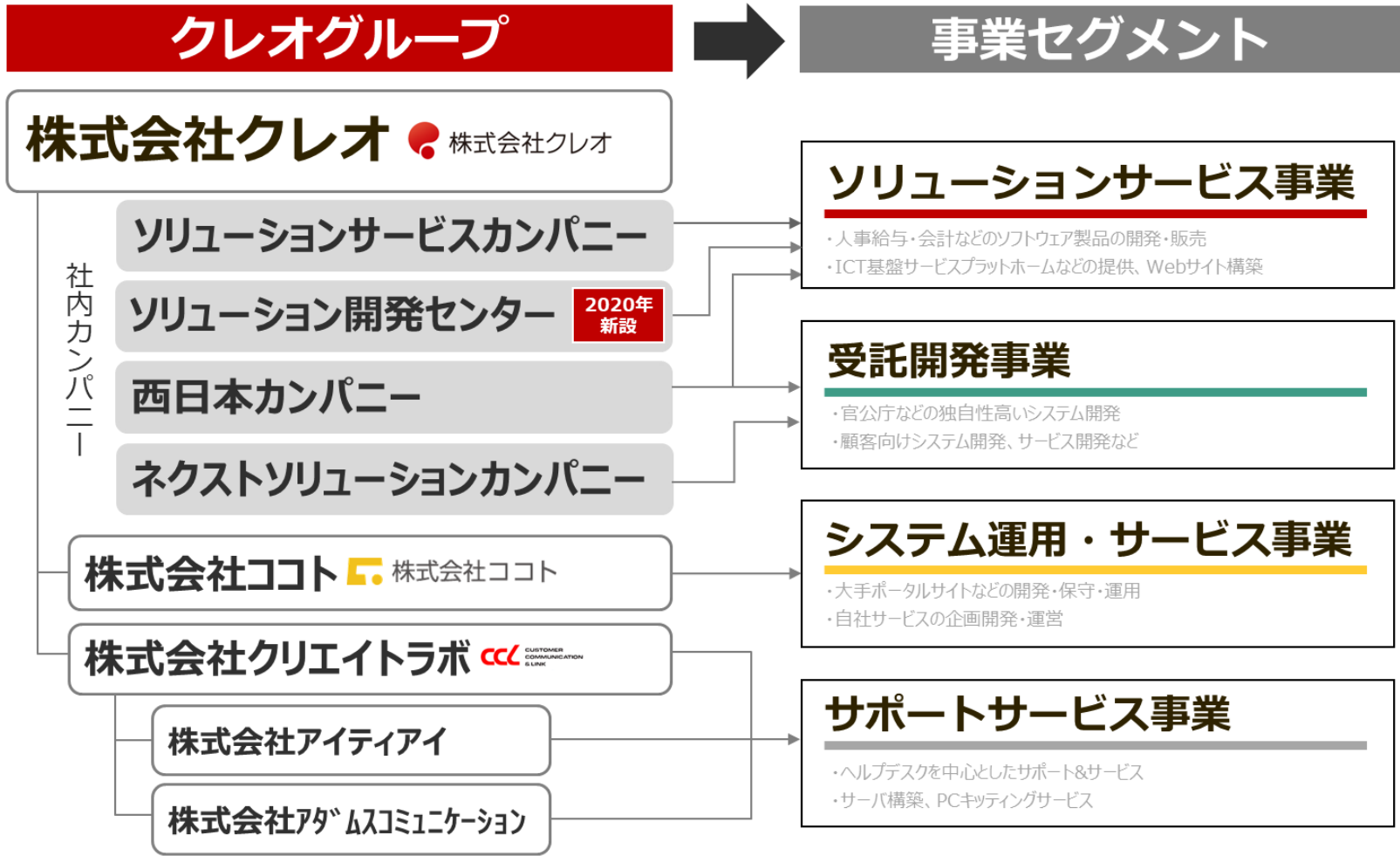
・収益基盤安定化
・生産性向上

収益性向上

原資

クレオグループの事業と組織

・2021年3月期より「組織 = 事業セグメント」となっていたのを一部見直し。2020年3月期まで「西日本事業」としてきた西日本カンパニーの売上高、利益は事業内容に応じて2つの事業セグメントに振り分け



(ご参考) 2020年3月期 四半期別実績：西日本事業合算版

(単位：百万円、%)

		2020年度 1Q実績	2020年度 2Q実績	2020年度 3Q実績	2020年度 4Q実績	通期実績
ソリューションサービス事業	売上高	942	1,307	1,160	1,755	5,165
	営業利益	181	254	225	413	1,075
受託開発事業	売上高	426	776	511	861	2,576
	営業利益	53	119	54	92	319
システム運用・サービス事業	売上高	525	540	563	557	2,187
	営業利益	22	22	73	80	198
サポートサービス事業	売上高	1,105	1,208	1,200	1,182	4,696
	営業利益	65	110	145	△11	309
連結合計	売上高	2,998	3,833	3,436	4,356	14,624
	営業利益	117	323	315	289	1,044

※2020年3月期の各事業における実績を西日本事業を合算した形で記載しております

2021年3月期 連結通期計画

(単位：百万円、%)

		上期 計画	前上期 実績(※)	増減率	通期 計画	前通期 実績(※)	増減率
ソリューションサービス事業	売上高	2,330	2,249	3.6	5,930	5,165	14.8
	営業利益	450	436	3.2	1,230	1,075	14.4
受託開発事業	売上高	1,220	1,202	1.5	2,620	2,576	1.7
	営業利益	160	173	▲7.6	340	319	6.3
システム運用・サービス事業	売上高	1,030	1,065	▲3.4	2,190	2,187	0.1
	営業利益	45	44	0.5	200	198	0.6
サポートサービス事業	売上高	2,320	2,314	0.3	4,760	4,696	1.4
	営業利益	135	175	▲23.3	320	309	3.3
連結合計	売上高	6,900	6,832	10.5	15,500	14,624	6.0
	営業利益	300	440	188.0	1,100	1,044	5.4

上期の営業利益計画ポイント

- 新型コロナウイルス感染対策に伴う、リモートワーク環境構築による費用増
- 大型PJ対応のためのオフィス増床投資

※2021年3月期第一四半期の決算報告から「西日本事業」としてきた西日本カンパニーの売上高、利益は事業内容に応じてソリューションサービス事業と受託開発事業の2つの事業セグメントに振り分けてご報告いたします。

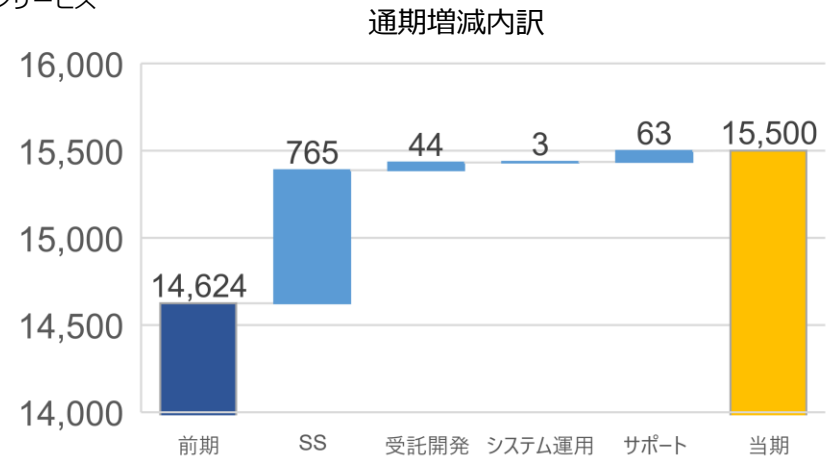
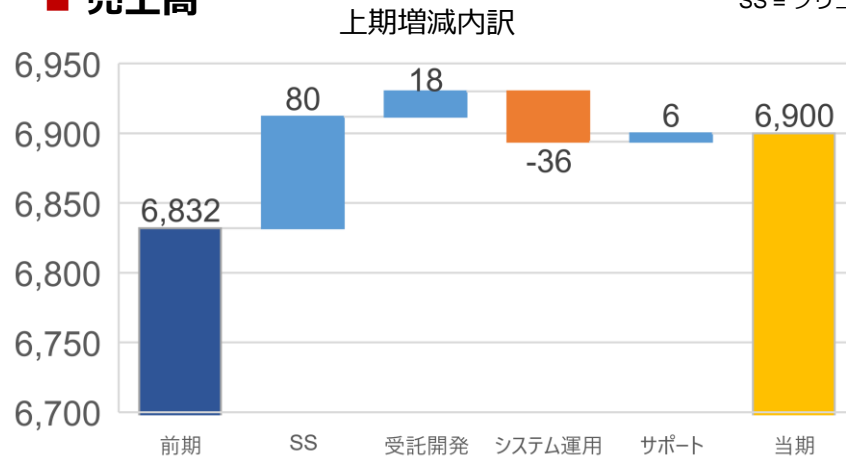
※今回算出の2019年度の実績数値は概算値となります。

2021年3月期 セグメント別増減（予想）

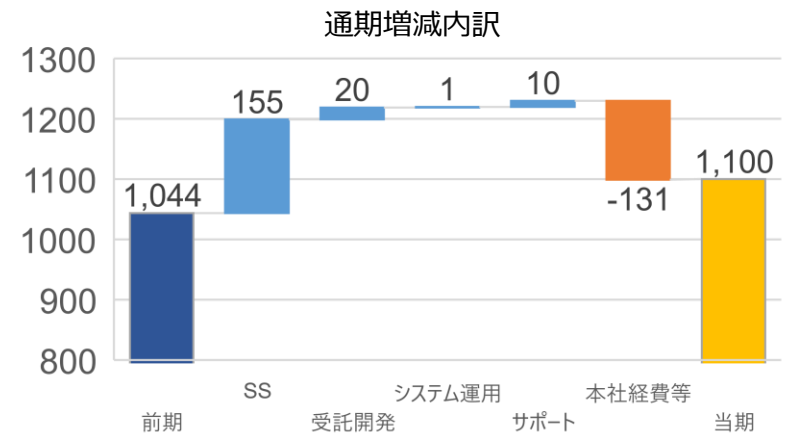
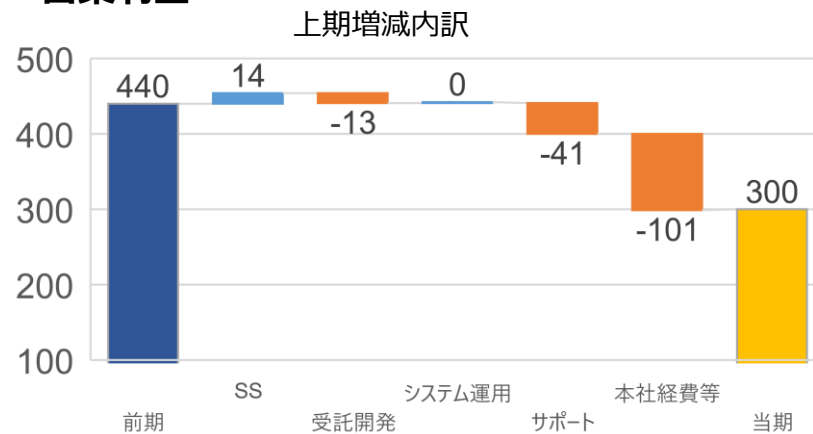
■ 売上高

SS = ソリューションサービス

(単位：百万円)



■ 営業利益





株式会社クレオ

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。